

2021年度 特定非営利活動法人地域福祉サポートちた事業報告

1 事業実施の概略

特定非営利活動法人地域福祉サポートちたは、福祉の増進と地域社会の発展に寄与するため、地域福祉を担う市民としての意識の高い人材を養成する事業や市民活動を支援する事業を行っている。法人が掲げたミッション、2025年に向けて基礎自治体ごとの「0歳から100歳の地域包括ケア」の実践を目指し、今年度は多様な主体との連携・協働により、地域防災、居場所づくり、多職種連携を促す取り組みを実施した。特に、3か年にわたる愛知県高齢者地域コミュニティ参加促進事業(委託)は、新型コロナ感染症対策としてオンラインを既存の通いの場へ導入化を図ったことでより多くの市民にその必要性を伝え、地域包括ケアの理解を深めることができた。

具体的には、当法人の定款第5条第1号の事業として、介護職員初任者研修、喀痰吸引等第3号研修、強度行動障害支援者養成研修課程(基礎・実践)の福祉人材育成を行い、またその次世代の講師養成にも努めた。自治体行政職員や民生委員、学生(NPO協働型サービスラーニングやインターンシップ等)の全対象に対して、NPO現場体験型を基盤とした人材育成研修を行った。定款第5条第2号の事業として、市民カフェ、ベティ基金等の運用を含むNPO事務局支援、さらに、グッドガバナンス認証機関とアマゾンジャパンが取り組む「みんなで応援プログラム」に参画し、NPOが必要とする物品寄付による支援を行った。また、知多市市民活動センター管理及び人材育成の市民活動支援事業、定款第5条第3号の事業として会報発行等の情報交流促進事業、第5条第4号の事業として、大学やNPO、行政等が行うまちづくり講座への講師派遣、行政計画策定委員やまちづくり審議会等への参加、定款第5条第5号の調査・研究・提言事業として、愛知県NPOと大学・企業連携促進事業(あいち協働事業サポートセンター((N)ボランタリーネイバーズ、(N)ボラのみより情報局、当法人の三者協働受託)による、多様な主体との連携・協働促進コーディネーター養成研修及び地域課題の解決に向けた多様な主体による連携・協働促進会議を行った。

2 事業の実施に関する事項

『特定非営利活動事業』

I 人材育成

I - 1 福祉人材育成

安心と豊かさを実現できる在宅サービス、地域福祉を担うヘルパーを育成(県の認定に準じたカリキュラムの実施)



(1)

介護職員初任者研修(通信)	実施形態	自主事業	収益	2,840,500円
			費用	1,990,568円

日程	場所	事業内容	受講者数
12/23-3/22	日本福祉大学美浜キャンパス ※新型コロナウイルス感染症対策として、一部講義(27時間)をオンライン(Zoom)にて実施	介護に携わる者が業務を遂行する上で必要な知識と技術を習得すると同時に、その実践の根柢となる考え方を学ぶことで、基本的な介護業務を行う介護職員初任者研修課程習得を目指した講義・演習・修了試験の実施	39人
			合計 39人

(2)

強度行動障害支援者養成研修(基礎研修)	実施形態	自主事業	収益	2,551,800円
		委託事業(半田市)	費用	1,788,252円
		収益	375,705円	
		費用	345,989円	

形態	日程	場所	内容	受講者数
委託	6/7、9/17	オンライン開催	行動障害が著しい人を支援する施設職員等を対象に障害特性の理解と適切な対応を学び、研修課程習得を目指した講義、演習の実施	48人
自主	6/20、27	メディアス体育館ちた		40人
自主	9/18、19	知多市市民活動センター		26人
自主	12/18、26	メディアス体育館ちた		28人
自主	3/6、13	知多市市民活動センター		35人
合計				177人

(3)

強度行動障害支援者養成研修(実践研修)	実施形態	自主事業	収益	550,040円
			費用	493,354円
		委託事業(半田市)	収益	295,020円
			費用	275,210円

形態	日程	場所	事業内容	受講者数
委託	11/1、4	オンライン開催	介護施設などで3年以上の実務経験を有する指導的立場にある職員を対象に、支援計画や手順書の作成を行うため講義・演習の実施	9人
自主	12/5、12	メディアス体育館ちた		22人
合計				31人

[強度行動障害支援者養成研修(実践研修)講師リハーサル]

開催日：11月28日 開催場所：知多市市民活動センター会議室

内 容：運営要領(2017年8月3日障発 0803 第1号当職通知)の一部改正に伴う研修カリキュラムを見直すため、研修講師による新カリキュラム研修資料の確認及び進行リハーサルの実施

参加者：出口晋((N)ゆめじろう)、林 大輔((社福)大府福祉会)、土肥克也((N)PakaPaka)、神田健司((N)あい)、奥山 善仁((株)あいぼ)、小濱 麻美((一社)みずなぎ)、糸山えり((一社)NEWS、山森英津子

(4)

喀痰吸引等研修(第三号研修(特定の者))	実施形態	自主事業	収益	1,675,610円
			費用	1,174,235円

日程	場所	事業内容	基本修了者	実地修了者
6/11、18	知多市市民活動センター	介護職員が施設や居宅において、たんの吸引や経管栄養を行うための研修課程の実施(基本研修・実地研修※) ※実地研修のみ対象者自宅等で実施	19人	36人
1/6、13	知多市市民活動センター		5人	7人
合計				24人 43人

[喀痰吸引等研修実施委員会の設置及び運営(必置)]

開催日：3月25日(金) 開催場所：当法人事務所(オンライン併用)

内 容：①研修実施状況と進捗状況の報告、②実地研修における新型コロナ感染予防対策の周知報告

参加者：中島一光(いきいき在宅クリニック院長)、森田貞子(すみれ訪問看護ステーション管理者)、戸田愛(いのちのきらめき畑)、市野恵、山森英津子

[担当者のふりかえり]

- ・強度行動障害支援者養成研修はカリキュラム改正に伴い内容を一新した。基礎研修講義は、たくと大府利用保護者のご協力のもと『家族の想い』を導入したことにより、受講生にとって貴重な時間となっている。疑似体験やロールプレイ等の演習は、受講生の理解が進むよう講師と協議を重ねながら運営を行った。
- ・喀痰吸引等研修(第3号研修)で初めて外国籍(1名)の受講があった。講師が独自に作成した『やさしい日本語』対応のテキストで学習した結果、筆記試験に合格することができた。
- ・精神障害や知的障害で行動上に著しい困難を有する方の特性について正しく理解するための行動援護従業者養成研修は今後、強度行動障害支援者養成研修(基礎・実践)に内容を組み入れることで対応していく。(山森英津子)

I-2 NPO人材育成

(1)

日本福祉大学 NPO協働型サービスラーニング(SL)	実施形態	委託事業(日本福祉大学)	収益	740,000円
			費用	695,000円

目的：日本福祉大学は2009年4月よりサービスラーニング(以下、SL)を取り組みを始めた。知多地域NPO等での社会経験を生かしたプログラムが特徴。また教育プログラムの狙いである「市民性」を育み、「自己形成力(学習意欲・対人関係能力・問題解決能力)」を高めるとしている。本事業は、大学とNPO等のより良い関係性を築くためのコーディネートを行う

実績①：SL受け入れNPO等の新規開拓及び調整(25団体、学生104人)

SL受け入れNPO等との意見交換会の開催

日程:2022年2月8日(火) 会場:知多市市民活動センター、オンライン併用

参加者数:34人(会場:NPO等8団体11人、教員5人、事務局2人 オンライン:NPO等7団体10人、教員1人、大学事務2人)

実績②：受け入れ学生104人のうち、岡本ゼミ学生5人が当法人で活動

日程	場所	事業内容
1 8/18	当法人事務所(オンライン)	法人概要及び活動内容の説明
2 8/26	知多市市民活動センター	ちた未来塾第2回「いなべ市のまちづくりを学ぼう！」参加
3 8/30	当法人事務所(オンライン)	広報づくりについての打合せ
4 8/31	当法人事務所(オンライン)	広報づくりの調べ学習
5 9/4	当法人事務所(オンライン)	講演会「私を生かして、まち育て～まちの縁側って？」 参加
6 12/18	知多市市民活動センター	ちた未来塾第4回「活動報告」発表

[担当者のふりかえり]

今年度はオンライン中心の活動のため、ちた未来塾「広報づくりを学ぶ」に参画した。個別の作業が多くったが、出身地の取り組みや政策を調査したことにより、学生それぞれが身近なまちづくりについて実感することができた。(山森英津子)

(2)

インターン受け入れ	実施形態	委託事業(知多市若者支援センター、 名古屋短期大学)	収益	74,000円
			費用	600円

目的：当法人の業務体験や研修・会議出席等の機会の提供、会員法人での現場体験等を通じて、NPOの理解、協働を学ぶ

日程	受け入れの実績	参加者数
8/18、20、23、25、26	知多市若者就労体験希望者	1人×5日間
9/1、3、15、16、21	至学館大学人間力総合演習活動	1人×5日間
10/13、14、15、20、28	知多市若者就労体験希望者	1人×5日間
12/1、6、9、10	知多市若者就労体験希望者	1人×4日間
2/3、10、15、22、24	知多市若者就労体験希望者	1人×5日間
2/21、22、24、25、27	名古屋短期大学現代教養学科1年生	2人×5日間
3/4、5、8、10、12	名古屋短期大学現代教養学科1年生	1人×5日間



[担当者のふりかえり]

法人内の事務作業だけでなく手づくりカフェAda-codaで調理補助作業や接客などの体験を通じてコミュニケーションを学んだ。また登録シェフにとっても、若者が撮る料理写真の見せ方を教えてもらう等の新たな発見もあった。(安藤千栄子)

名古屋短期大学生のインターンは、愛知県高齢者地域コミュニティ参加促進事業や知多市担い手人材育成研修への参加、NPOの現場見学、事務作業やAda-codaを体験した。NPOの現場見学では、現場の人から、「自分がまず楽しんで行うこと」の大切さを学んだ。短い期間ではあったが、私たちも様々な経験ができ、楽しい時間となった。(早川純子)

(3)

マネジメントセミナー	実施形態	自主事業	収益	0円
			費用	7,200円

目的：新型コロナウイルス感染症対策及び地域の暮らしを支えるNPO活動の継続を目指す

日程	場所	事業内容	参加者数
4/28	知多市市民活動センター (オンライン併用)	各法人の取り組みの情報共有を実施 「新型コロナウイルス感染症対策」 ・BCP(事業継続計画)の活用 ・法人内での感染予防対策	10人

[担当者のふりかえり]

コロナ禍という、今まで経験したことない状況下において、活動を継続していくためには、法人の代表は、判断を下さなければならぬ場面も多く、何を基準にどう判断しているか、法人内でどんな感染予防対策をしているかについての意見交換は、有意義な機会となった。また、常に見直しが必要ではあるものの、新型コロナウイルス感染症対策のBCP、何かが起こったときの判断のベースや行動指針を事前につくっておくことが有効であると改めて感じた。(早川純子)

(4)

職員研修	実施形態	委託事業(知多市)	収益	138,710円
			費用	138,760円

目的：住民の福祉の増進を図ることを基本とする地方自治体職員の姿勢を自ら考える機会として、協働の必要性を理解し、NPOの設立の経緯や取り組みの事例及び、協働による地域課題の解決の成果を学ぶ

日程・開催場所	事業内容	参加者数
11/26 知多市市民活動センター	豊かな市民活動を求めて活動するNPOの目線とその成果を理解し、市民と共に協働のまちづくりに取り組む行政の役割を確認する研修を実施 ①「NPOの基礎知識と知多地域の特性(社会背景)」 講師:市野恵 ②「権利擁護支援を通じた地域づくり～知多地域成年後見センターの取り組み～」 講師:今井友乃((N)知多地域成年後見センター) ③「市民協働研修～ちた塾ってどんなところ？～」 講師:横井和美((N)市民大学ちた塾)	入職2年目職員21人 担当課(職員課)1人 計22人
11/29 A)南柏谷ハウス B)ゆいの会	①参加者はAコース、Bコースに分かれてNPO現場へ視察 ②振り返りワークショップの開催	

[担当者のふりかえり]

新型コロナウイルス感染症対策のため、現場視察は2グループに分けて行った。現場の声を直接聞きすることで、制度や行政だけではできない、また民間だけではできないことが、協働によって実現しており、支援のしくみが成り立っていることを、NPOの視点に立って理解し、「自分達にできることは何か」を考え、グループで共有することができた。(安藤千栄子)

(5)

NPO研修	実施形態	委託事業(知多市東部地区民生・児童委員協議会)	収益	71,728円
			費用	64,050円

目的：知多市の東部地区民生・児童委員を対象に、民生委員活動に役立つ知識や制度などを学ぶ

日程	場所	事業内容	参加者数
11/18	知多市市民活動センター会議室	講義①:「高齢者への相談面談の対応について」 講師:白木美千代(知多市高齢者相談支援センター) ビデオ視聴:「訪問活動・相談活動の基本」～民生委員・児童委員のための相談技法研修用ビデオ～ 講義②「介護保険と高齢者福祉」講師:有田てるみ、岩堀良治(知多市長寿課)	17人

[担当者のふりかえり]

高齢者相談支援センターの概要や相談業務のポイント、また高齢者に関する制度やサービスなどを民生委員としての基礎知識を学んだ。参加者からは「面談相談の対応で具体的な事例や対応例が参考になった」や「昔からの制度の経緯、なぜ介護保険が誕生したかも理解できました」との感想があった。(安藤千栄子)



(6)

現場視察研修	実施形態	委託事業(下表参照)	収益	86,900円
			費用	84,950円

目的：NPO活動の実践現場へ訪問し、双方向により見聞きすることで、その活動を理解する

日程	委託団体	事業内容	参加者数
11/5	一宮市市民活動支援センター	オンライン(Zoom)によるバーチャルバスツアーの実施 ①知多市市民活動センター/市野恵 ②(N)知多地域成年後見センター/今井友乃 ③とまと記念館/江口澄子((N)LET'S食の絆)、長谷川将司(東海市健康推進課) ④南粕谷ハウス/石井久子、今井秀明、江端勝則、森昭彦	参加者:5人 一宮センター職員:3人

[担当者のふりかえり]

昨年に引き続き、新型コロナウイルス感染症対策によりZoomを使った「オンライン・バーチャル版バスツアー」として、主催団体である一宮市市民活動センター職員3人が現場を訪問し、団体の声と現場の様子をWeb配信した。参加者からの質疑を双方向での対応により、「コロナ禍の中で居場所を閉めず継続されていたことが素晴らしい。オンラインでありながら、リアルな現場を感じることができた。」と感想があった。(安藤千栄子)



(7)

高齢者地域コミュニティ参加促進事業	実施形態	委託事業(愛知県福祉局高齢福祉課)	収益	2,441,300円
			費用	2,441,300円

目的：高齢者の社会参加を促進するため、既存の通いの場が抱える「独居高齢者や男性の参加が進まない」ことや、「利用者の固定化」などの課題解決を目指した通いの場モデル事業を3カ年実施し、内容などをまとめ県内全域へ普及することを目的とする

事業内容：知多市市民活動センターを拠点に通いの場を実施。対面による、誰でも参加しやすい通いの場だけでなく、Zoomなどのオンラインツールを活用したハイブリッド参加型イベントを開催した。メイン会場と各地域の通いの場をオンラインでつなぐことで、移動手段に制限のある人や機器の操作が難しい人、またネット環境や機器のない人が、徒歩圏内の通いの場で参加できるような仕組みづくりを実施



日程	場所	事業内容	参加者数
1 5/19	地域の縁側グリーン・ラソ	高齢者のためのメイク＆カラー診断 講師:榎原恵理(マザースターズ)、竹本優子(ビューティリア名古屋) メイクの力で心も元気になる、高齢者のためのメイク講座	9人
2 6/22	知多市市民活動センター オンライン	『老いから学ぶ』事前交流会 オンライン講演会に必要な操作の実践練習を兼ねた交流会	11人
3 6/29	知多市市民活動センター オンライン視聴会場:つつじが丘 3ハウス、ゆいの会、南粕谷 公民館(元気会)、らでいっしゅ	オンライン講演『老いから学ぶ』 講師:長谷川実彰(大智院) 前向きに年を重ねるための、仏教の教えを聞く	71人
4 7/29	知多市市民活動センター オンライン視聴会場:つつじが丘 3ハウス	「喜楽 de 書」体験講座 講師:百武幸一 自由に書を描き、暑中見舞いはがきを作る体験講座	23人

5	8/17	知多市市民活動センター オンライン視聴会場:つつじが丘3ハウス	認知症とアロマセラピー 講師:杉江恵(ナーディアム) アロマセラピーの効能や記憶に及ぼす影響を学ぶ	26人
6	9/16	知多市市民活動センター オンライン視聴:南粕谷公民館(元気会)	はじめての介護講座 講師:榎本美子(知多市高齢者相談支援センター) 家族に介護が必要となった際の相談先や介護保険制度を学ぶ	28人
7	10/12	知多市市民活動センター オンライン	『日本の里山風景を語る』事前交流会 オンライン講演会に必要な操作の実践練習を兼ねた交流会	8人
8	10/15	知多市市民活動センター オンライン視聴会場:南粕谷ハウス、つつじが丘3ハウス	オンライン講演会『知多の里山を語る』 講師:山法師の会 知多市大興寺の四季折々の写真を通じて里山保全活動を伺う	14人
9	11/28	知多市市民活動センター オンライン視聴会場:つつじが丘3ハウス	伝統芸能を体験しよう! 講師:尾張万歳保存会 尾張万歳を体験できる多世代参加のワークショップ	22人
10	12/16	知多市市民活動センター オンライン視聴会場:南粕谷ハウス、つつじが丘3ハウス	オンライン講演会『写真で巡る知多の歴史』 講師:岡本嘉久一(元 旭南をよく知ろう会) 貴重な資料写真を見ながら、地域の歴史を学ぶ	24人
11	1/27	知多市市民活動センター オンライン視聴会場:つつじが丘3ハウス	もしもの時のため人生会議してみませんか? 在宅ケアセンターの看護師による、エンドイングノートを作るきっかけ講座	13人
12	2/25	知多市市民活動センター 手づくりカフェ Ada-coda	もっと野菜をとろう!かんたん!つけもの講座 講師:宝かずみ(菜チュレ) 野菜不足解消のための、初心者料理講座	7人
13	3/30	知多市市民活動センター オンライン視聴会場:らでいっしゅ	「救急医療情報キット」をつくろう! 講師:西尾聰子(南医療生活協同組合) 救急時に必要な情報を常備しておく「救急医療情報キット」づくり コーヒーを美味しく淹れるための、ハンドドリップ講座 講師:中村省吾さん((福)愛光園ひかりのさとファーム)	21人
延べ				266人

広報啓発事業

日程	場所	広報啓発事業内容	参加者数
1 5/28	知多市市民活動センター	サロンでZoomを使ってみよう! サロン管理者向けの、Zoom基礎講座	16人
2 10/8	知多市市民活動センター	はじめての Zoom 講座 通いの場参加者向けの、Zoom基礎講座	15人
3 11/24	知多市市民活動センター	はじめてのLINE講座 講師:まうすの会 高齢者向けのLINE基礎講座	15人
4 12/4 12/18	地域の縁側ラゾ・プラザ 地域の縁側グリーン・ラゾ	コンサート「0~100歳つなぐつながるコンサート」	
5 3/5	知多市市民活動センター	講演会「これからの時代の居場所づくり」 講師:湯浅誠((N)全国こども食堂支援センター理事長)	76人
延べ			122人

[高齢者地域コミュニティ参加促進事業マニュアル検討会議の開催]

目的:3年間の実施内容を通りの場マニュアルにまとめ、2022年度に愛知県が一般介護予防事業において通りの場の充実・継続的な拡大に主導的役割を果たす県内市町村および地域包括支援センターへマニュアルを配布(予定)

構成員:学識経験者、担当課、モデル事業を実施した5団体((N)瀬戸地域福祉を考える会まごころ、(一社)地域社会福祉サービス支援機構、(N)ライフステーション・あいち、(N)楽笑、当法人)

場 所：愛知県生涯学習推進センター視聴覚室

日程	内容
第1回 10/11	①これまでの取り組み状況について報告(モデル事業実施団体) ②通いの場マニュアル案の検討
第2回 2/14	①3年間の総括(成果と課題)モデル事業終了後の取り組みについて報告(モデル事業実施団体) ②通いの場マニュアル案の検討 ③来年度の取り組み方針案について検討

[担当者のふりかえり]

3年目となる通いの場では、オンライン(Zoom)を活用したイベントを開催、当初はオンラインを敬遠する人もいたが、新型コロナウイルス感染症拡大により高齢者もスマホやオンライン(Zoom)を利用する機会が増えたことで参加につながった。また積極的に学びたいと思っている男性高齢者が多数いることがわかった。湯浅誠氏の講演会より、「子ども食堂という居場所は入場制限のない公園のような場所である」とあり、高齢者だけではなく、多世代で交流できる居場所こそが「男性高齢者の参加が少ない」や「参加者の固定化」等の課題解決になるのではないかと感じた。(安藤千栄子)



(8)

人財育成事業	実施形態	委託事業(ちた人財・志事ツクール推進ネットワーク)	収益	400,400円
			費用	400,400円

目的：主体的かつ自立的に地域づくりを行う人財の育成と、課題解決型の活動等の志事の創出を図るため、市と連携して人財育成講座を開催するものとして、「地域でのコト起こしを実現した」先駆者たちから、その視点や考え方、人とのつながりを生むヒントを学ぶ

日程	場所	事業内容	参加者数
12/19	メディアスちた体育館 2階大会議室 (オンライン併用)	・先駆者が語るpart1 持続可能な地域とは ～自分らしい関わり方でまちを楽しむ～ スピーカー：加藤慎康((合社)カモケンラボ代表) ・先駆者が語るpart2 わくわくする地域の未来 スピーカー：加藤慎康((合社)カモケンラボ代表) ※再掲 新美泰樹((株)PLUS OKD 代表取締役社長) 伊藤友加子((株)Gu・RADO 代表取締役) コーディネーター：星野博((N)志民連いちのみや 理事長)	オンライン9人 会場39人

[担当者のふりかえり]

2016年秋に発足したちた人財・志事ツクール推進ネットワークは、知多市に“わくわくすることを起こそう！”と、学び・実践・交流の3つの場づくりを官民連携で取組んできました。10回目となったこの開催を最後に当ネットワークは、2022年2月17日に解散、清算人による清算事務を開始し、3月16日をもって清算結了しました。本事業を通しての出会いがきっかけとなって、今後の発展につなげていきたいと思います。(市野恵)



(9)

日本福祉大学「就職・転職支援のためのリカレント教育推進事業」	実施形態	委託(日本福祉大学)	収益	1,434,580円
			費用	1,166,380円

目的：新型コロナウイルス感染症の影響などにより失業した者、解雇等見込みの者、非正規雇用労働者等のうち、福祉分野への就職に関心を持つ者を対象として福祉の仕事に必要な知識、技術を効率的に修得させ、高齢者分野、障害者分野、児童分野など多様な福祉の業務を担える人材を養成し、福祉分野への就業・就職につなげる

事業内容：①実施委員会構成員としての会議の出席(7/28、9/28、11/30、1/26、2/28)計5回

②求職者支援プログラム内の介護職員初任者研修(科目9)に関わる項目の指導講師派遣 プログラム修了者23名

	日程	時間	科目	講師派遣数
1	10/20	9:30～16:30	介護に関する基礎的理解(1)	1人
2	10/21	9:30～12:30	介護に関する基礎的理解(2)	1人
3	11/2	9:30～16:30	基礎的理解(3)、終末期介護	2人
4	11/4	9:30～16:30	生活と家事、快適な居住環境整備	1人
5	11/5	9:30～16:30	睡眠演習	2人
6	11/9	9:30～16:30	移乗演習	2人
7	11/16	9:30～16:30	移動演習	2人
8	11/18	9:30～16:30	整容演習	2人
9	11/19	9:30～16:30	排泄演習	2人
10	11/25	9:30～16:30	入浴演習	2人
11	11/26	9:30～16:30	食事演習	2人
12	11/30	9:30～16:30	介護過程の基礎的理解	2人
13	12/2	9:30～16:30	総合生活支援技術演習	2人
累計				23人

③短期集中コース(NPO現場見学ツアー)の企画及び当日運営 プログラム修了者46名

実施日：1月13日 10:00～17:00

見学先(オンライン及び動画)：(N)かくれんぼ、南医療生協、(社福)楽笑、(株)あいぽ

[担当者のふりかえり]

求職者支援プログラムは、資格取得(初任者研修・ガイドヘルパー)に加え、ビジネスマナー研修や現場実習もあり、就職に向け段階的にサポートする内容で、当法人が派遣した講師より、受講態度が大変熱心で、積極的に学んでいたとの報告を受けている。大学事務局報告によると最終的な就職率・就業率は37%であった。介護知識を学び、現場の様子に触れることで介護の仕事に対しての自信につながり、今後の就職選択肢の一つとして福祉業界を選んでほしい。(山森英津子)

II 市民活動支援事業

II-1 市民活動団体事務局支援事業

(1)

手づくりカフェ Ada-coda	実施形態	自主事業	収益	1,984,438円
			費用	1,919,872円

目的：誰もが自分色で輝ける場の提供と「食」を通じたコミュニティづくりの応援

事業内容①：ワンデイシェフに登録した一般市民・団体が提供するランチ等のサポート及びコーディネート

ワンデイシェフ登録数：28人(16団体)、来店者数：延べ2276人

期間：通年 場所：知多市市民活動センター 調理室・交流室

事業内容②：シェフ新規開拓のため、第2回あいちの伝統野菜を学ぶ料理講座をあいち在来種保存会との共同開催

日程：2021年9月29日(水)

場所：東邦ガス プロ厨房オイシス(名古屋市港区)

講師：高木幹夫(あいち在来種保存会)

調理実演講師：長田勇久(小伴天はなれ「一灯」店主・料理プロデューサー)



[担当者のふりかえり]

交流室の換気の徹底やテーブルの消毒など、感染予防に注意しながら営業を行っているため、コロナ禍で減りつつあった来店者数が増え、徐々にだが、安定した客数が見込めるようになってきた。シェフが新たに4人増えて、ますます活気が出てきた。今後も、新規シェフ獲得のため、SNSを活用した広報などに力をいれてていきたい。(幸前洋子)

(2)

ベティ基金事務局	実施形態	委託事業((株)R and Tカンパニー)	収益	79,000円
			費用	60,000円

目的：制度によらない障がい者福祉活動等社会貢献活動を行うボランティア団体・NPO法人等を応援するベティ基金の助成運用及び広報に係る事務を行うことで、団体支援及び地域交流・活性につなげる

日程	場所	事業内容	会議構成員
第20回：5月末	書面審査	申請書検討会議	田中祐樹((株)R and Tカンパニー)
第21回：8/12～8/20		※助成決定は下表のとおり	今井友乃((N)知多地域成年後見センター) 市野恵

[助成決定]

助成月	助成決定団体/団体概要	助成事業	助成額
6月	(一社)南知多ユニバーサルビーチプロジェクト(南知多町)/誰もが利用できるユニバーサルデザインの普及	障がい児者とその家族を対象に、魚つかみ取りや釣りの体験活動	10万円
9月	知多半島フットケアサポート会/専門職・NPO・自治体と連携をし、足病変の症例検討や関連情報の共有を行なうネットワークを構築する	フットケア技術研修会での実技講習会で活用する物品購入	11.6万円
	(一社)Oneness/障がい者の日常生活及び社会生活を支援する	農福連携による障がい者の就労で農作業に使用する備品購入	10万円

[担当者のふりかえり]

今年度は助成件数が少なかった。これは、コロナ感染拡大防止の為、対面での事業・イベントが縮小されていたことに関係するのかなと感じている。次年度は活発な活動に繋がるよう拡げていきたい。(江端智子)

(3)

事務支援	実施形態	自主事業	収益	80,140円
			費用	72,414円

目的：NPO法人等のIT相談、講座運営などの事務代行により、活動をサポートする

	支援団体	事業内容(日程)
1	(N)PakaPaka(武豊町)	強度行動障害支援者フォローアップ研修一部調整
2	(N)地域ぐるみで子育ち・子育ての会こころん(知多市)	情報発信講師(4/18、5/7、6/6、15、8/16、17、18、19、21)
3	(N)あい(岩倉市)	Zoom運営支援(12/19)、YouTubeライブ配信支援(12/19)

[担当者のふりかえり]

IT関連の支援依頼が2件あった。今後もIT関連支援の需要が高まることが予想される。(久田富二子)

(4)

物品クラウドファンディング	実施形態	自主事業	収益	191,166円
			費用	188,609円

目的：インターネット(Amazonみんなで応援プログラム)を通してNPO活動の情報発信を行い、全国の共感者から物資調達ができる仕組みを活用し、団体へ物資提供。※Amazonみんなで応援プログラムは、(一財)非営利組織評価センター(JCNE)が認証したグッドガバナンス認証団体及び、こども食堂活動団体が参加するアマゾンジャパンの社会貢献活動

[物資提供]

	支援団体	提供内容
1	(N)くるくる(刈谷市)	絵本・遊具
2	(N)ゆめフルたけとよスポーツクラブ(武豊町)	運動補助具・遊具
3	知多ビジョンプロジェクト(知多市)	学用品
4	(N)はっぴいわん大府(大府市)	キッチン用品・米・駄菓子・冷凍庫
5	手づくりカフェ Ada-coda	キッチン用品・手指消毒剤・電気ポット

[担当者のふりかえり]

梱包品の中に送り状からのメッセージがあり、それには「以前、講師として関わりました！」と、懐かしいお便りや、アマゾンジャパンが設定した新生活応援やクリスマスといったキャンペーン期間中には、子ども食堂を応援したいといった温かいメッセージが添えられていました。企業による社会貢献活動を現場NPOへつなげていきたいと思う。(市野恵)

II-2 知多市市民活動センター支援事業

(1)

市民活動センター相談・支援	実施形態	委託事業(知多市市民協働課)	収益	8,629,500円
			費用	8,629,500円

目的：市民・コミュニティ・市民活動団体及び事業者が自発的に行う、共益・公益活動を促進するための事業実施及び機能の充実を図ることにより市民協働のまちづくりに寄与する

事業内容(右表)

- ①市民活動に関する相談業務
- ②市民活動のための場所の提供業務
- ③センター使用料徴収業務
- ④市民活動に関する情報の収集及び提供業務
 - ・行政や市内外の活動団体等からの情報は、交流スペース、ラック、掲示板、ホームページを活用した情報発信
 - ・団体情報ファイルを整理して最新の情報収集
- ⑤その他市民活動の推進に必要な業務
 - ・waiwai交流会(年2回) センター登録団体を主対象に情報交換会を実施

月	稼働日数 (日)	①相談 (件数)	②場所の提供業務		③使用料 徴収業務 (件数)
			市民活動室 利用(人)	会議室 利用(人)	
4月	29	47	410	509	159
5月	28	18	269	522	159
6月	30	25	312	645	139
7月	29	20	248	675	110
8月	30	42	281	571	139
9月	28	42	319	630	143
10月	31	38	315	754	128
11月	28	18	294	686	128
12月	28	32	275	659	132
1月	27	31	284	453	133
2月	26	28	234	352	92
3月	30	39	324	563	148
計	344	380	3,565	7,019	1,610

[waiwai交流会]

日程	内容	参加者数
8/24	防災セミナー＆ワークショップ 講演「自然災害について知識を深めよう～帰宅困難対策の準備を！～」 講師：椿佳代（防災士、エンジェルランプ代表）	21人
3/12	「Web会議を設営しよう」～Web会議に必要な機材と組み合わせを学ぶ～ ①Web会議機材説明 ②Web会議設営と機器の利用体験 講師：伊藤裕、久田富二子	11人



[新型コロナウィルス感染症対策]

- ・入退館時の手指消毒、マスク着用徹底
- ・入館者は氏名、連絡先、健康状態等を記入提出
- ・会議室利用時の換気の徹底(30分に1回/5分程度)、利用後の室内および備品等の消毒

期間	制限	閉館時間	その他
4/20～5/11	フリースペース：食事禁止、滞在時間3時間程度	午後9時	まん延防止等重点措置適用
5/12～6/20	利用人数制限(定員の半数) フリースペース：食事禁止、滞在時間1時間程度	午後8時	緊急事態措置適用
6/21～7/11	フリースペース：食事禁止、滞在時間3時間程度	午後9時	まん延防止等重点措置適用
7/12～8/7			愛知県厳重警戒措置実施
8/8～8/20			まん延防止等重点措置適用
8/21～8/26		午後8時	
8/27～9/30	利用人数制限(定員の半数)、水分補給以外の飲食禁止、新規受付停止、共有利用停止 フリースペース：滞在時間1時間程度	午後8時	緊急事態措置適用
10/1～10/17	フリースペース：食事禁止、滞在時間3時間程度	午後9時	愛知県厳重警戒措置実施
2022/1/15～20			

1/21～3/21	水分補給以外の飲食禁止 フリースペース：滞在時間1時間程度	午後9時	まん延防止等重点措置適用
-----------	----------------------------------	------	--------------

(2)

市民活動センター清掃事業	実施形態	委託事業(知多市市民協働課)	収益	880,000円
			費用	880,000円

目的：障がいの有無に関わらず、働く意欲のある人への就労の場の提供およびそのコーディネート

事業内容：週5日のセンター館内の清掃業務(年間251日)及び清掃具・消耗品の管理・充填

(3)

市民活動センター夜間管理事業	実施形態	委託事業(知多市市民協働課)	収益	122,100円
			費用	122,100円

目的：センター夜間時における施設管理業務

事業内容：夜間(18:00～21:30)の場所の提供業務と閉館作業 ※夜間利用がある日のみ対応

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	年間
利用時間(時間)	19	7.5	4	3.5	8	8.5	4.5	7	15	2	1.5	12	92.5
利用日数(日)	7	4	2	2	3	5	2	3	5	1	1	5	40

(4)

まちづくり人材育成事業	実施形態	委託事業(知多市市民協働課)	収益	482,743円
			費用	462,743円

目的：地域活動、市民活動の担い手の掘り起こしや育成を進めるとともに、地域の現状や社会のニーズに合った持続可能な組織づくりが必要となるため、積極的にまちづくりに関わる人材を育成し、地域活性化を図る

事業内容：市民が市民を育てるまちづくりの総合拠点、知多市市民活動センターを共同運営する三者(総合ボランティアセンター、(N)市民大学ちた塾、当法人)が「本事業共同事業体協定」を締結し、月1回の企画運営会議を行い、以下のスケジュールで実施。当法人の担当は、講座「Zoomを学んで、地域で活躍しよう！」の企画運営及び事務局。

本事業では、地域活動に興味を持つ「火種」となり趣味や交友関係を広げ、まちづくりに参画する「第一歩」を踏み出すことができるよう市民活動団体の代表者より地域の現状やまちづくりに対する考え方を受けて、オンラインシステムZoom機能を使いながらグループディスカッション、発表までのサポートを実施

日程	内容	講師	参加者数
9/25	①開校式 「Zoomの基礎講座」 ・開校あいさつ ・事業概要説明 ・Zoomの基礎講座及び実技 ホスト向けマニュアルに沿って基本操作を学ぶ 参加者所有端末を使用しWEB会議予約を体験	長谷川一樹(市民協働課) 新美沙奈(総合ボランティアセンター) 鈴木宏樹、新美和紀(知多メディアネットワーク)	14人
10/9	②市民活動について考える グループワークその1 ・Zoomの基礎講座及び実技 ・グループ別「市民活動を学ぶ」	鈴木宏樹、新美和紀(知多メディアネットワーク) 竹内あつ子・加藤沙織(ちたビジョンプロジェクト) 永井恵子(傾聴ボランティア) 渡邊弘子(日本和装文化) 坂鏡子(地域ぐるみで子育ち・子育ての会)	16人
10/30	③市民活動について考える グループワークその2 ・グループ別「ディスカッション」 事務局各担当が立ち上げたZoomに参加者が入室した のち、進め方を確認、ホスト役を交代しながらグループ メンバーを招待し、先回内容についてディスカッション	各グループのファシリテーター(事務局:市民協 働課、生涯学習課、市民大学ちた塾、総合ボラ ンティアセンター、当法人)	13人

11/20	④市民活動について考える グループワークその3 ・グループ別「ディスカッション」	各グループのファシリテーターは事務局で対応	16人
12/4	⑤閉校式「発表会」 ・Zoomによるグループ発表 ・各講師より講評 ・まちづくり実行委員会の活動紹介 ・閉校あいさつ	加藤沙織、永井恵子、渡邊弘子、坂鏡子 市民大学ちた塾、総合ボランティアセンター、サポートちた 杉浦理恵(市民協働課)	15人
		述べ	74人

[担当者のふりかえり]

感染防止の取り組みとして、知多市は公共施設にいち早くフリーWi-Fi環境を完備させ、オンライン機器導入を行ってくださったおかげで、オンラインを学ぶ研修や交流会を実施することができた。また実践をと通して、オンライン会議設定やオンライン会議の進行のコツを学ぶことができ、参加者の満足度は高かった。(市野恵)



(5)

若者チャレンジ支援事業「ちた未来塾」	実施形態	委託事業(知多市市民協働課)	収益 797,500円
			費用 782,684円

目的：地域の未来を担う若い人たちを対象に、講座・体験・実践活動等を通じて、すでに地域活動を実践している先輩たちと共に学ぶことで、将来、積極的にまちづくりに参加できる人材を育成。最終的には参加者が次年度以降の本事業の企画等に携わることができる循環型の人材の育成を目指す

事業成果：入塾:9人(高校生1人・大学7人・社会人1人)

構成：20回(塾4回、ミーティング11回、個別対応5回)



[塾の開催]

日程	場所	事業内容	参加者数
1 5/25	地域担当職員研修	・講義「コミュニティの状況及び市民活動への理解」 講師:杉浦理恵(知多市市民協働課)、市野恵	18人
2 7/30	知多市市民活動センター	講演会(一般公開) ・講演「『自分ごと』から『社会ごと』へ！～男女共同参画の視点から考える～」 講師:渋谷典子((N)参画プラネット代表) ・グループワーク	30人
3 8/26	知多市市民活動センター (講師はオンライン)	・講座「『自分ごと』から『社会ごと』へ！」 講師:渋谷典子 ・講座「いなべ市のまちづくり」 講師:一橋俊介((一社)グリーンクリエイティブいなべ) ・講座「いなべ市の広報」 講師:清田若菜氏(いなべ市役所秘書広報課) ・グループワーク	19人
4 11/7	にぎわいの森 いなべ市シビックセンター	フィールドワーク:三重県いなべ市 案内:一橋俊介	12人
5 12/18	知多市市民活動センター	2021年度活動報告会(一般公開) ・今年度の活動報告 ・塾生による活動報告(広報の発表) ・ちた未来塾の振り返り	25人
			延べ 104人

[実施体制]

塾長	吉村輝彦(日本福祉大学国際福祉開発学部教授)
アドバイザー	渋谷典子((N)参画プラネット代表)
サポーター(4人)	森戸力(社会人・元1期生)、鈴木友梨(社会人・元第1期生)、犬飼ひかる(社会人・元第3期生)、坂本実穂(大学生・元第3期生)
担当課職員	杉浦理恵、小嶋大樹、加藤隆一
事務局	市野恵、久田富二子、山森英津子、早川純子

[担当者のふりかえり]

2021年度は、男女共同参画の視点からの若者の社会参画、三重県いなべ市のまちづくりや広報について学んだ。そして、いなべ市のまちづくりの拠点である、にぎわいの森にフィールドワークに行き、実際にやってみることの大切さ、行ってみることで得られる気づきを体感し、塾生自身の出身市町のよいところを紹介する広報づくりを行い、人に「伝わる」ために、どう表現したらよいかを考えた。それらを経験する中で、まちづくりについて、「見方が変わった」、「難しく考えなくともよいことがわかった」、「自分もやりたくなった」など、塾生の全員から前向きな声があがつた。(早川純子)



(6)

地域活動担い手育成事業	実施形態	委託事業(知多市市民協働課)	収益	474,980円
			費用	454,980円

目的：地域活動を担う人材の養成に係る講座の実施により、地域を担う人材のリーダーシップ、ファシリテーション及びコーディネート等のスキルアップを図る。また、受講者が他地域の住民及び市民活動団体と交流し、つながりを醸成することで、地域活動の円滑化を図るとともに、新たな取り組みの創出及び既存事業の改革などを推進できる体制をつくる

受講対象：知多市内小学校10地区、令和4年度役員、生活支援コーディネーター
(※第1回のみ、同上、令和3年度役員、地域担当職員)



開催場所：知多市市民活動センター会議室(オンライン併用)

日時	講師	事業内容	参加者数
1/16	川北秀人 (IIHOE(人と組織と地球のための国際研究所)代表)	これからの地域経営に向け、課題解決の進め方を学び、コロナ禍での事業の見直しについて、全国のある先進事例を学ぶ	45人
2/6	篠原辰二 ((一社)Wellbe Design 理事長)	リーダーシップやファシリテーション、コーディネート等のスキルに加え、コロナ禍における集団の意思決定方法とそのポイントを学ぶ	30人
2/27		地域実践に生かすため、合意形成に向けたコミュニケーション方法および個々コミュニケーションの癖や特徴を自ら知る	31人
		延べ	106人

[担当者のふりかえり]

地域活動の前提となる地域の現状、またその課題に取り組む先進事例を学ぶことで、事業の見直しのきっかけを提供することができた。また、その際の円滑な合意形成について学ぶことで、実践に向けて一步踏み出せるのではないか。(市野恵)

III 情報・交流促進事業

III-1

WEBサイト管理	実施形態	自主事業	収益	0円
			費用	469,300円

目的：当法人の情報発信(事業内容、講座、開催イベント等の広報)を行う。

事業成果：年間アクセス数 22,662回(2021/4/1～2022/3/31)

URL <https://sunnyday-cfsc.ssl-lollipop.jp/>



III-2

ニュースレター発行 法人リーフレット発行	実施形態	自主事業	収益	0円
			費用	312,867円

目的：地域福祉サポートちたの事業報告・イベント案内・会員団体情報などのほかに、福祉・NPO・市民活動情報等を会員をはじめ、行政、社会福祉協議会、市民活動センター、市民、学生に広く発信

発行物	時期・部数	配布先
ニュースレター 「SUPPORT NEWS」	年4回(4月、7月、10月、1月) 各回700部	会員・会員団体、 愛知県内福祉・協働部署 愛知県内社会福祉協議会 愛知県内市民活動センター 県外NPOセンター各所
法人リーフレット	年1回6月改訂 1500部	



法人リーフレット

IV 啓発相談事業

IV-1

NPO・まちづくり講師派遣	実施形態	行政	収益	31,120円
		民間	費用	31,120円
		民間	収益	94,089円
			費用	69,089円

目的：大学、市民団体、行政等が行う福祉、市民活動支援、まちづくり、協働等へのコーディネート、講師、委員などの派遣を行い、地域福祉や市民活動の活性化を図る

	依頼元	日程	内容	派遣者
(1) 大学等講師派遣				
1	日本福祉大学国際福祉開発学部1年	4/23	現代福祉 講義「知多半島のNPOと地域づくり」	市野恵
2	日本福祉大学 社会福祉学部2年	6/16	行政福祉特別講義「知多半島における市民活動の事例から」	市野恵
3	日本福祉大学 社会福祉学部1年	7/7	社会福祉入門 行政人間/子ども専修「医療地域における福祉実践(2)－NPO－」	市野恵
4	日本赤十字豊田看護大学	12/2	ボランティア活動論	市野恵
5	長野大学 社会福祉学部3年	12/28	専門ゼミナール「施設から在宅へ“まちづくり型福祉”をめざす知多半島型福祉モデル」	市野恵
(2) 行政・各種団体講師等派遣				
1	(N)中部プロボノセンター	1/16	第8期プロボノメンバー研修 講義「地域福祉とボランティア活動」	市野恵
2	にっぽん子ども・子育て応援団	2/12	地域まるごとケア・プロジェクト報告会 事例発表「人生100年時代の0-100歳“まちづくり型福祉”を目指す 知多半島型福祉モデル」	市野恵

(3) 各種検討委員会等委員派遣		
1	全国NPO事務支援カンファレンス会員	市野恵
2	全国生活困窮者自立支援全国研究交流会実行委員会	市野恵
3	愛知県NPO・大学・企業などの協働検討会議	早川純子
3	愛知県市民活動支援センター情報交流会実行委員会	市野恵 早川純子
4	(N)ボランタリーネイバーズ理事	市野恵
5	(N)あいちNPO市民ネットワーク理事	市野恵
6	(N)だいこんの花理事	市野恵
7	(一社)サステナブル・コ・イノベーションフォーラム理事	市野恵

8	知多半島フットケアサポート会監事	市野恵
9	子どもゆめ基金専門委員(独立行政法人国立青少年教育振興機構)	市野恵
10	知多メディアネットワーク株式会社 FM番組審議会委員(5月書面審査、9月書面審査、3月書面審査)	市野恵
11	知多メディアネットワーク株式会社 テレビ番組審議会委員(10月書面審査、3月書面審査)	安藤千栄子
12	知多北部広域連合 介護保険事業計画推進委員	市野恵
13	知多市特別職等報酬審議会委員	市野恵
14	知多市環境審議会委員	市野恵
15	知多市若者支援地域協議会構成員	市野恵
16	知多市市民活動センター連絡会議 開催日(月1回):4/7、5/12、6/2、7/7、8/4、9/1、10/6、11/10、12/1、1/5、2/2、3/2	早川純子 高熊仁美 山森英津子 幸前洋子
17	知多市市民活動センター連携会議 開催日(月1回):4/16、5/21、6/15、7/16、8/20、11/18、12/17、1/21、2/18、3/11	市野恵
18	ちた人財・志事ツクール推進ネットワーク総会(6/3、2/3)	市野恵
19	ちた人財・志事ツクール推進ネットワーク清算人会(3/16)	市野恵
20	尾張旭市自治会等活動促進助成事業候補選定会議(6/26)	市野恵
21	尾張旭市自治会等活動促進助成事業中間報告会(1/29)	市野恵
22	みよし市産後ホームヘルプ事業協議会(9/15、3/3)	市野恵
23	愛知県青少年育成県民会議参加団体	市野恵
24	知多警察署協議会	山森英津子
26	愛知県経営者協会(寄稿)	市野恵

IV-2

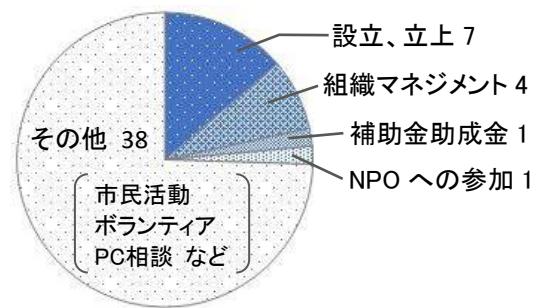
NPO法人設立・運営等相談	実施形態	自主事業	収益	0円
			費用	25,000円

目的：NPO法人設立や団体の日常運営、課題解決による活動支援

事業内容：電話・FAX・Eメール・来訪などで、計51件の相談に対応

[担当者のふりかえり]

コロナ禍における、オンライン会議などの機会が増えたことからZoomをはじめとした機器操作支援などの相談が増えた。また2月以降ウクライナ支援募金に関する団体相談もあった。(安藤千栄子)



IV-3

行政訪問	実施形態	自主事業	収益	0円
			費用	37,177円

目的：NPOと知多10市町(基礎自治体)との協働促進

事業内容：知多市とは年間を通して協働し、事業推進や情報交換を実施している。また、3市5町(常滑市、東海市、大府市、阿久比町、東浦町、南知多町、美浜町、武豊町)とは、総会後、当該地域の会員団体とともに訪問、事業報告と情報交換を実施

[担当者のふりかえり]

コロナ感染拡大防止による事業の縮小など、コロナ禍におけるNPO活動の現状と課題など情報交換を行った。当該市町のNPOリーダーと共に、今後必要となる地域協働および、町内連携を呼びかけた。(安藤千栄子)

日程	訪問先(同行NPO)
6/7	東海市市民協働課((N)東海市在宅介護家事援助の会ふれ愛)
6/9	武豊町企画政策課((N)ゆめじろう)
6/14	美浜町企画課、南知多町地域振興課
6/21	東浦町協働推進課(認定(N)絆)
6/25	大府市協働推進生涯学習課((認定N)ネットワーク大府)
6/28	常滑市安全協働課((N)あかり)
6/30	阿久比町政策協働課((N)もやい)

V 調査・研究・提言事業

V-1

愛知県NPOと大学・企業連携促進事業	実施形態	委託事業(愛知県社会活動推進課)	収益	1,326,922円
			費用	1,842,370円

目的：地域の課題が多様化・複雑化していく中で、様々な課題を解決していくためには、地域の多様な主体が連携・協働して取り組むことが求められており、行政や市民活動センター等の職員には、各主体の連携・協働に係るコーディネーターとしての役割が期待されている。そのため、2020年度に実施した、NPOと大学・企業の連携・協働に係る先進事例や連携・協働に関するニーズについての調査結果を元に研修を実施し、研修の内容をまとめた成果報告書を県内の市町村や市民活動センターに提供することで、多様な主体による連携・協働を促進する

事業内容：(N)ボランタリーネイバーズ、(N)ボラみみより情報局、当法人の三者で構成する、共同事業体あいち協働事業サポートセンターで実施。多様な主体の連携・協働を進めるために必要なコーディネータースキルを学ぶ「多様な主体との連携・協働促進コーディネーター養成研修」と、地域課題の解決に向けて、多様な主体が集まって地域円卓会議を体験しながら学ぶ「地域課題の解決に向けた多様な主体による連携・協働促進会議(研修)」の2種類の研修を行った。さらに、それぞれの研修の内容についてまとめた成果報告書(各200部)を作成し、市町村や市民活動センターに配布



[実施内容1] 多様な主体との連携・協働促進コーディネーター養成研修

	日程	場所	内容	参加者数
1	9/8	オンライン	【第1部】・講演:「連携・協働とは? 地域円卓会議とは?」 講師:川北秀人(IIHOE[人と組織と地球のための国際研究所]所長) 【第2部】・グループワーク:自己紹介と講演の感想共有、わがまち自慢&こまりごと ファシリテーター:加藤武志(まち楽房(有)代表取締役)	28人
2	10/7	あいちNPO 交流プラザ	【第1部】・ペアワーク:社会貢献活動の相談を受ける場面をイメージ 【第2部】・企業がプロボノメンバーを募り、NPOとの連携・協働を進めている事例紹介 講師:濱島正樹(大同メタル工業(株)コンプライアンスセンターチーフ) 大須賀恵子((N)中部プロボノセンター事務局長) 【第3部】・グループワーク:今日の「気づきと挑戦(Awareness & Try)」を共有	27人
3	11/8	あいちNPO 交流プラザ	【第1部】・グループワーク:大学に連携・協働を呼びかける場面をイメージ 【第2部】・大学の地域連携センターが重要な役割を果たした事例紹介 講師:大脇明子(名古屋経済大学地域連携センター統括主査) 松本里美((N)シェイクハンド代表理事) 【第3部】・グループワーク:今日の「気づきと挑戦(Awareness & Try)」を共有	26人
4	12/7	あいちNPO 交流プラザ	【第1部】・地域の多様な主体が関わることで活動を大きく展開していった事例紹介 講師:星野博((N)志民連いちのみや理事長) グループトーク:協働提案シートをストーリー仕立てにして共有 【第2部】・共有タイム:第1部グループトークの共有 【第3部】・チェックアウト:「グサッとメント(今日刺さったこと)」、「コミットメント(現場で○○します)」を発表	28人
			述べ	109人



[実施内容2] 地域課題の解決に向けた多様な主体による連携・協働促進会議(研修)

日程	場所	内容	参加者数
1 9/8	オンライン	【第1部】・講演:「連携・協働とは?地域円卓会議とは?」 講師:川北秀人(IIHOE[人と組織と地球のための国際研究所]所長) 【第2部】・グループワーク:地域円卓会議の意義とは。 ファシリテーター:池田哲也((一社)地域問題研究所事業部長) アドバイザー:川北秀人 ・話題提起:「亀崎地区まちおこしと連携・協働について」 話題提起者:池脇啓太(日本福祉大学地域連携アドバイザー) 【第3部】個人ワーク・共有:地域のどんな課題を解決したいのか	23人
2 9/24	まちかどサロン かめとも	【第1部】・現場見学:半田市亀崎地区 案内人:石川正喜((N)亀崎まちおこしの会理事／運営委員長) 【第2部】・亀崎のまちおこし、連携・協働についての質疑応答 対応者:石川正喜、池脇啓太	10人
3 10/5	あいちNPO 交流プラザ	【第1部】・話題提起:「長者町エリアの取組におけるプロセスデザイン(課題認識の相互理解に焦点を当てて)」 話題提起者:名畠恵((N)まちの縁側育くみ隊代表理事) ・地域円卓会議①:「多様な主体で課題認識について理解・共有するには」 【第2部】個人ワーク・グループワーク・発表:地域アセスメント、課題認識の共有	23人
4 11/2	あいちNPO 交流プラザ	【第1部】・話題提起①:「さかさま不動産の取組(プレイヤーを増やす)」 話題提起者:水谷岳史((株)On-Co代表取締役) ・話題提起②:「かさでらのまち食堂の取組(シェアを基軸)」 話題提起者:宮本久美子(宮本久美子建築設計事務所所長) ・地域円卓会議②:「自由な意見を出し合う」「重点的な取組を整理する」 【第2部】グループワーク:行政構成員の宿題シートの内容について	18人
5 12/1	あいちNPO 交流プラザ	【第1部】・話題提起①:「名城大学の取組(多様な主体の連携)」 話題提起者:宮原知沙(名城大学社会連携センターアドバイザー) ・話題提起②:「絆の取組(地域との関わり)」 話題提起者:山崎紀恵子((認N)絆代表) ・地域円卓会議③:「多様な主体の役割をつくる」 【第2部】・行政構成員の「地域円卓会議 実践計画シート」発表と意見交換	16人
			述べ
			90人

[担当者のふりかえり]

私は、主に「地域課題の解決に向けた多様な主体による連携・協働促進会議(研修)」を担当した。企画としてもいろいろなことを盛り込むことができ、また、地域円卓会議やまちづくりの経験豊富な方々に、会議構成員として参加してもらい、自身の事例についての話題提起もしてもらったので、研修は有意義なものになり、報告書には地域円卓会議を行う際に大切にしなければいけないことや多様な主体を巻き込む方法など、必要な項目や具体的なアイデアをまとめることができた。これらの研修を担当して得た知識や経験は、連携・協働のコーディネータースキルも含め、他の業務にも生かしていきたいと思う。(早川純子)

V-2

0-100研究プロジェクトD 専門職による多職種連携・職員研修	実施形態	委託事業(日本福祉大学地域ケア研究 推進センター)	収益 192,292円
			費用 192,292円

目的:在宅医療・介護連携推進事業の連携を阻む要因の一つである「医師が入った連携をどう作っていくか」をテーマに事例検討する。また、医療と福祉、病院と在宅、医師と看護師等、職種やフィールドによる言葉の使われ方の“違い”に焦点を当てながら実践での問題点を探る

ワークショップ構成員:19名



日程	場所	事業内容	参加者数
8/19	知多市市民活動センター オンライン併用	在宅医療・介護連携推進のための多職種研修を考えるワークショップ① ファシリテーター: 藤井博之先生(長野大学社会福祉学部教授/佐久病院医師) 話題提供① 「知多半島フットケアサポート会設立の思い、現在の取り組み」 話題提供者: 長利麻衣子(小野整形外科看護師) ワークショップ① 生活に影響する“足裏”的困りごとに関する地域の実情 ミニレクチャ「整形外科医から見た“0歳からの足育”の必要性」 話題提供者: 小野直洋(小野整形外科院長) 話題提供② 「知多半島フットケアサポート会の今後の展開と課題」 ワークショップ② 実践に向けて、わが町ですぐにできうことのアイデア出し	17人
11/25	知多市市民活動センター オンライン併用	在宅医療・介護連携推進のための多職種研修を考えるワークショップ② ファシリテーター: 藤井博之先生(長野大学社会福祉学部教授/佐久病院医師) 話題提供① 「医療現場から見た“連携/つながる”的違い」 話題提供者: 白尾久美子(日本福祉大学看護学部 教授) ワークショップ 「他とつながる? 連携する?」 全体討論 「領域・職種・立場による“連携/つながる”的違いとは」	12人
延べ			29人

[担当者のふりかえり]

今年度も地域における連携・協働の障壁を打破したいと考える大学、行政、社協、NPO参加メンバーによって、情報共有することができた。特に、現役看護師から医療現場で困っているケースを伺うことによって、地域課題のゲートである医療施設と地域福祉との連携の必要性を強く感じた。次年度は、複数の課題を抱える事例をもとにるべき連携・協働を模索する予定。(市野恵)

V-3

O-100研究プロジェクトE 福祉施設等のBCP・減災ネットワークの取組	実施形態	委託事業(日本福祉大学地域ケア研究 推進センター)	収益 197,955円	費用 197,955円
---	------	------------------------------	----------------	----------------

目的: 災害時の被害を最小限に抑えるための減災のつながりを構築する。特に、自然災害における「他施設との連携」や「地域との連携」等の地域まるごとの事業継続をめざす

事業内容: 調査及びワークショップ型研修の開催

調査: ①本研究会メンバーである福祉NPO(6団体)を対象に、新型コロナ感染症対策の実施状況

②本研修に参加する福祉施設を対象に、BCP策定の進捗状況



日程	場所	事業内容	参加者数
9/30	知多市市民活動センター オンライン併用	講義①「災害対策とBCP策定(自然災害)」 講師: 山本克彦(日本福祉大学福祉経営学部教授) 講義②「感染症対策とBCP策定(パンデミック災害)」 講師: 新美綾子(日本福祉大学 看護学部教授) グループ別意見交換	40人
11/4	知多市市民活動センター オンライン併用	前回の振り返り 山本克彦(日本福祉大学福祉経営学部教授) 事例報告 BCP策定の進捗 報告者: 岩木さとみ(知多福祉会 やまもも第一) グループ別意見交換「BCP策定過程で困ったところを共有する」	34人
延べ			74人

[担当者のふりかえり]

介護事業所のBCP策定が2024年から全サービスにおいて義務化される。本プロジェクトは、災害や防災・減災活動に取り組み、支援が必要な被災地へ現地入りされた先生方の実績から、BCPの前提となる被害想定を学ぶことができた。また、各施設のBCP策定調査から「地域との連携」について、その多くが未計画であることが分かったので、次年度で取り組みたい。(市野恵)

0-100研究プロジェクトG 包括的支援体制の構築に向けた研究会	実施形態	委託事業(日本福祉大学地域ケア研究 推進センター)	収益	332,089円
			費用	332,089円

目的：包括的支援体制、重層的支援体制整備事業を円滑に実施していくことを目指し、自治体・社協等の関係者による研究会を運営することで、相互に情報交換や研鑽を図り、かつ知多半島で包括的な支援体制を構築する

日程	場所	事業内容	参加者数
8/18	知多市市民活動センター オンライン併用	包括的支援体制と重層的支援体制整備事業 —Q & Aを読み解く— 原田正樹(日本福祉大学地域ケア研究推進センター センター長) 意見交換 各自治体の現状を含む自己紹介及び、研究会への期待	38人
9/28	オンライン	重層的支援体制整備事業—Q & Aを読み解く— 公開研究会 講演「重層的支援体制整備事業」 講師:清水修(厚生労働省 社会・援護局 地域福祉課 地域共生社会推進室) メンバー限定研究会 意見交換 実務担当者による本事業の捉え方(悩み、課題、期待)	45人
11/10	メディアス体育館ちた2階 大会議室	アンケート報告 末永和也(日本福祉大学福祉経営学部 助教) 事例報告 重層的支援体制整備事業着手の2自治体より 井上綾(東海市高齢者支援課) 藤原千恵(大府市福祉総合支援室) 進捗報告(包括的支援体制、重層的支援体制整備事業の準備、検討状況 8自治体より 全体ディスカッション これまでの研究会を通しての課題、今後の希望等 事業実施に向けた機能的組織体制について 菊池遼(日本福祉大学社会福祉学部 助教)	45人
			延べ 128人

[担当者のふりかえり]

日本福祉大学地域ケア研究推進センター主催による研究会は、2017年10月からスタートしたニッセイ財団40周年特別事業(高齢社会助成委託研究)の事後、現場との協働研究として「0-100歳のすべての人が安心して暮らせる知多半島モデル」の構築を目指して7つのプロジェクトで進めている。このうち当法人は3つプロジェクト事務局として現場の声を届け、その学びを共有することに努めた。(市野恵)



VI 会議の開催に関する事項

会議名	内容	参加者	場所・日程
1 通常総会	定款の定めるところによる通常総会開催	正会員 39 人 (委任状含)	知多市市民活動センター 5/27
2 理事会	定款の定めるところによる理事会開催	理事	知多市市民活動センター、当法人事務所 5/17、6/1、9/21、11/15、3/22(年6回)
3 常務理事会	理事会の議決に基づく常務理事会の開催	理事	当法人事務所 7/19、1/17(年2回)
4 監査	定款の定めるところによる監査	監事	当法人事務所 5/12
5 担当者ミーティング	①福祉人材育成グループ ②総務グループ	各担当者	当法人事務所 ①4/9、5/25、7/13、9/7、11/11 ②4/7、4/22、2/7
6 スタッフミーティング	事業進捗報告・共有 市民活動センター事業の改善	スタッフ全員	当法人事務所 4/13、5/10、6/7、7/5、8/5、9/6、10/4、11/1、12/6、1/11、 2/7、3/7(月1回)

その他実績

日	研修名など	〈開催場所等〉
4月	15日 セカンドハーベスト名古屋を支える会の全体会	〈オンライン〉
	19日 Withコロナ時代の社会参加と雇用継続のための学習会②「オンライン総会対応」	〈オンライン〉
	20日 新型コロナウイルス対策 愛知県まん延防止等重点措置 ~5月11日迄	
	20日 JCNE 第1回 ベーシックガバナンスチェック説明会 「組織基盤強化のポイント23」	〈オンライン〉
	23日 (N)あいちNPO市民ネットワークセンター 理事会	〈みよし市市民活動センター〉
	26日 (N)ボランタリーネイバーズ 理事会	〈オンライン〉
5月	11日 JCNE主催 交流会	〈オンライン〉
	11日 スタッフ研修「中間支援組織の役割再考」松下典子さん	〈知多市市民活動センター〉
	12日 新型コロナ特別措置法に基づく緊急事態宣言 ~5月31日迄	
	17日 (N)地域福祉サポートちた 理事会	〈事務所・オンライン〉
	20日 (N)ボランタリーネイバーズ主催学習会 新たな取組を始めるヒント（補助金の活用事例等）	〈オンライン〉
	21日 生活困窮者自立支援全国研究会交流大会 第2回実行委員会	〈オンライン〉
	22日 (N)だいこんの花 総会	〈ラディッシュ〉
	(N)知多地域成年後見センター 総会	〈知多市市民活動センター〉
	23日 (N)りんりん 総会	〈オンライン〉
	24日 JCNE 監事のためのMeetUp	〈オンライン〉
	26日 JCNE 第1回認証団体オンライン交流会	〈オンライン〉
	31日 愛知県内市民活動支援センター情報交流会企画会議	〈オンライン〉
	(N)ボランタリーネイバーズ理事会	〈オンライン〉
6月	1日 新型コロナ特別措置法に基づく緊急事態宣言 延長 ~6月20日迄	
	1日 愛知県社会活動推進課 事業説明会	〈あいちNPO交流プラザ〉
	7日 行政訪問	〈東海市〉
	9日 行政訪問	〈武豊町〉
	10日 センター植栽ボランティア	〈知多市市民活動センター〉
	14日 行政訪問	〈美浜町・南知多町〉
	18日 (N)あいちNPO市民ネットワークセンター総会	〈みよし市市民活動センター〉
	20日 (N)ボランタリーネイバーズ総会	〈オンライン〉
	21日 新型コロナ特別措置法に基づくまん延防止等重点措置	
	行政訪問	〈東浦町〉
	愛知県内市民活動支援センター情報交流会企画会議	〈オンライン〉
	25日 (認N)シーズ【新型コロナ対応】2021年度支援策+改正NPO法 説明・相談会（第6回）	〈オンライン〉
	27日 (N)絆主催 講演会（かさでらのまち食堂）	〈東浦町緒川コミュニティセンター〉
	28日 行政訪問	〈常滑市〉
	29日 (N)ボランタリーネイバーズ主催学習会 ビジネスコミュニケーションツール活用術	〈オンライン〉
	30日 行政訪問	〈阿久比町〉
7月	多様な主体との連携・協働促進会議 選定委員会	〈あいちNPO交流プラザ〉
	知多後見センター主催 ライフエンディング事業	〈知多市福祉活動センター〉
	1日 Amazonみんなで応援プログラム ちたメディアス取材	〈ちたビジョンプロジェクト〉
	5日 (N)ボランタリーネイバーズ理事会	〈オンライン〉
	6日 JCNE認証評価員養成研修〈基礎〉	〈オンライン〉
	7日 生活困窮者自立支援全国研究会交流大会 第3回実行委員会	〈知多福祉活動センター〉
	11日 共和病院主催 地域医療フォーラム「豊かな夜会生活を送るために」	〈オンライン〉
	12日 愛知県厳重警戒措置 ~ 8月11日迄	
	13日 公開イベント「ボラのみの新しい「理念」ができました」	〈オンライン〉
	18日 知多市制50周年記念式典	〈知多市勤労文化会館〉
	知多半島フットケアサポート会 会議	〈オンライン〉
	23日 東京オリンピック2020開幕 ~8月8日迄	
	29日 知多市「ふらっと」	〈知多市役所〉

日	研修名など	〈開催場所等〉
8月		
1日	第17回日本福祉大学夏季大学院公開ゼミナール 〈D分科会〉	〈オンライン〉
	学生ボランティア面接	〈法人事務所〉
3日	(N) あいちNPO市民ネットワークセンター理事会	〈みよし市市民活動センター〉
	日本福祉大学0－100プロジェクト第1回全体研究会	〈オンライン〉
4日	東海市子ども食堂「とまと食堂」視察見学	〈東海市荒尾町〉
7日	南医療生協創立60周年・南医療病院開院45周年記念事業シンポジウム	〈南医療総合病院〉
9日	公共サービスにおけるエッセンシャルワーカー ジェンダー視点で「見える化」PJ	〈オンライン〉
10日	知多北部広域連合 介護保険事業計画推進委員会	〈しあわせ村〉
11日	知多市若者就労支援プログラム 就労体験面接	〈法人事務所〉
16日	生活困窮者自立支援全国研究会交流大会 第4回実行委員会	〈知多市福祉活動センター〉
21日	知多市社協主催「災害ボランティアコーディネータースキルアップ講座」	〈知多市福祉活動センター〉
22日	知多半島フットケアサポート会 会議	〈オンライン〉
25日	JCNE第2回JCNE事業説明会／情報交換会	〈オンライン〉
27日	愛知県緊急事態宣言発出～9月9日迄	
30日	日本福祉大学サービスラーニング活動日	〈法人事務所〉
31日	日本福祉大学サービスラーニング活動日	〈法人事務所〉
9月		
1-2日	さわやか福祉財団 いきがい助け合いサミットin神奈川	〈オンライン〉
4日	知多市「未来ツクリバ」私を生かして、まち育て講演会	〈オンライン〉
5日	知多市子ども食堂プロジェクト	〈オンライン〉
6日	(N) ボランタリーネイバーズ理事会	〈オンライン〉
13日	緊急事態宣言期間延長～9月30日迄	
11日	メディアスFM収録（防災の取り組み紹介）	〈電話で生放送〉
14日	愛知県内市民活動支援センター情報交流会	〈オンライン〉
15日	みよし市 産後母子支援事業協議会	〈みよし市市民活動戦センター〉
10月		
1日	愛知県厳重警戒措置～10月17日迄	
2日	Withコロナ時代の社会参加と雇用継続のための学習会・活動相談会	〈オンライン〉
10日	日本福祉大学第5回 子どものための心理的応急処置 (PFA)	〈オンライン〉
13日	(N) 知多地域成年後見センター臨時総会	〈知多市福祉活動センター〉
14日	愛知県内市民活動支援センター情報交流会 世話人会	〈オンライン〉
15日	日本福祉大学「美浜キャンパス 減災・防災ウォーキング」	〈日本福祉大学美浜校〉
19日	(N) あいち市民ネットワークセンター理事会	〈みよし市市民活動センター〉
29日	全国NPO事務支援カンファレンスNPO法人に求められるデジタル手続きを考える	〈オンライン〉
11月		
1日	(N) ボランタリーネイバーズ理事会	〈オンライン〉
6日	すみれ訪問看護ステーション主催 褥瘡研究会	〈オンライン〉
10日	(N) ボランタリーネイバーズ主催 NPO向け・初めての消費税インボイス制度	〈オンライン〉
12日	知多市市民活動センター花苗作業	〈市民活動センター〉
13日	第8回全国研究交流会生活困窮者自立支援全国ネットワーク全体会	〈オンライン〉
14日	第8回全国研究交流会生活困窮者自立支援全国ネットワーク分科会	〈オンライン〉
16日	(N) ボランタリーネイバーズ主催 法人20周年プレ企画	〈オンライン〉
17日	JCNEアドバンス評価	〈オンライン〉
29日	知多北部広域連合第2回介護保険事業計画推進委員会	〈東海市しあわせ村〉
12月		
2日	日本赤十字豊田看護大学「ボランティア活動論」	〈オンライン〉
5日	若者サポートセミナー2021	〈知多市若者支援センター〉
6日	(N) ボランタリーネイバーズ理事会	〈オンライン〉
10日	サービスラーニング（岡本ゼミ）研究発表会	〈日本福祉大学美浜校〉
14日	ふらっと	〈知多市役所〉
15日	愛知県資金調達セミナー	〈オンライン〉
16日	介護福祉で未来を拓く「介拓プロジェクト」第1回実行委員会	〈アスクネット事務所〉
20日	知多市特別職等報酬審議会	〈知多市役所〉

日	研修名など	〈開催場所等〉
21日	三菱UFJ銀行半田支店 訪問	
22日	休眠預金説明会	〈オンライン〉
23日	ゆめ基金専門委員会	〈オンライン〉
25日	中小企業診断士との面談 ((N)ボランタリーネイバーズ)	〈知多市市民活動センター〉
28日	長野大学社会福祉学部 専門ゼミナール	〈オンライン〉
1月		
6日	愛知県内支援センター情報交換会世話人会	〈オンライン〉
9日	知多半島フットケアサポート会設立総会	〈知多市市民活動センター〉
15日	(N)中部プロボノセンター講義	〈日本陶磁器会館〉
17日	サポートちた常務理事会	〈オンライン〉
19日	(N)あいちNPO市民ネットワークセンター理事会	〈みよし市市民活動センター〉
15日	愛知県新型コロナ感染症厳重警戒	
20日	介護福祉で未来を拓く「介拓プロジェクト」第2回実行委員会	〈オンライン〉
21日	愛知県まん延防止等重点措置 (～3月21日迄)	
22日	日本福祉大学ふくしフィールドワーク実践	〈日本福祉大学東海キャンパス〉
28日	知多北部広域連合第3回介護保険事業計画推進委員会	〈東海しあわせ村〉
29日	尾張旭市自治会等活動促進助成事業中間報告会	〈オンライン〉
2月		
2日	知多市若者就労支援センター就労体験希望者面接	〈法人事務所〉
3日	ちた人財・志事ツクール推進ネットワーク総会	〈知多市役所〉
4日	北京オリンピック2022開幕	
7日	(N)ボランタリーネイバーズ理事会	〈オンライン〉
8日	日本福祉大学0-100プロジェクト研究会	〈オンライン〉
9日	知多市子育て支援体制ヒアリング	〈知多市子育て総合センター〉
10日	介護福祉で未来を拓く「介拓プロジェクト」研修プログラム打ち合わせ	〈オンライン〉
12日	にっぽん子ども・子育て応援団「地域まるごとケア・プロジェクト」報告会	〈オンライン〉
14日	事務支援カンファレンスNPO会計マニュアル意見交換会	〈オンライン〉
16日	日本福祉大学ふくしフィールドワーク実践	〈ふらっとスペースならわ〉
17日	第3回NPOと大学企業など多様な主体との協働に向けた検討会議	〈あいちNPO交流プラザ〉
18日	介護福祉で未来を拓く「介拓プロジェクト」第3回実行委員会	〈オンライン〉
19日	日本福祉大学ふくしフィールドワーク実践	〈みんなの縁がわ・南柏谷ハウス〉
20日	知多市若者支援フォーラム2022	〈知多市青少年会館〉
21日	日本福祉大学ふくしフィールドワーク実践	〈武豊町社会福祉協議会〉
24日	三菱UFJ銀行半田支店贈呈式	〈知多市市民活動センター〉
25日	JCNEアドバンス評価実習	〈オンライン〉
25日	ゆめ基金専門委員会	〈オンライン〉
28日	介護福祉で未来を拓く「介拓プロジェクト」研修プログラム打ち合わせ	〈オンライン〉
3月		
1日	愛知県市民活動支援センター意見交流会打ち合わせ	〈オンライン〉
3日	みよし市 産後母子支援事業協議会	〈みよし市市民活動センター〉
	知多市若者支援地域協議会全体実務者会議	〈知多市青少年会館〉
4日	介護福祉で未来を拓く「介拓プロジェクト」研修プログラム打ち合わせ	〈法人事務所〉
7日	(N)ボランタリーネイバーズ理事会	〈オンライン〉
16日	ちた人財・志事ツクール推進ネットワーク清算人会	〈知多市役所〉
17日	介護福祉で未来を拓く「介拓プロジェクト」第4回実行委員会	〈オンライン〉
	愛知県市民活動支援センター情報交流会	〈オンライン〉
22日	愛知県厳重警戒での感染防止対策	
	サポートちた理事会	〈法人事務所・オンライン〉
23日	日本福祉大学多職種連携WS予算会議	〈オンライン〉
28日	介護福祉で未来を拓く「介拓プロジェクト」研修プログラム打ち合わせ	〈オンライン〉